

## 2014年6月2日経営会議の概要

日時 : 2014年6月2日(月) 午前9時10分~午前10時45分
会場 : 政策会議室
委員・幹事 : 市長、高橋副市長、有金副市長、教育長、政策経営部長、財務部長、経営改革室長、広報担当部長、企画政策課長、企画政策課未来づくりプロジェクト担当課長、企画政策課政策研究担当課長、広報課長、秘書課長、法制課長、職員課長、財政課長
説明 : 議題1 文化スポーツ振興部長、文化振興課長、文化振興課担当課長、都市づくり部長、公園緑地課長、地区街づくり課長 議題2 都市づくり部長、公園緑地課長、経済観光部長、農業振興課長

議題1 : (仮称) 町田市立国際工芸美術館整備基本計画の策定について (文化スポーツ振興部)

### 【付議の目的】

- (仮称) 町田市立国際工芸美術館整備基本計画(案)の内容と今後の進め方について、承認を受ける。

### 【提案の概要】

2011年度に新しい博物館の基本構想として「町田市における博物館機能の再整備に向けた調査検討報告書」を策定した。町田市の文化芸術振興を躍進させ、「まちの賑わい」に寄与するため、町田市の貴重な財産である工芸美術資料を活用した工芸美術館を整備する方向を示し、その基本理念・基本方針等を決定した。

基本構想を受けて、「まちの魅力の発掘・創造・発信」、「豊かな自然環境と優れた交通利便性を活かした都市の魅力の獲得」、「文化芸術に触れる機会や場の充実」という3点の視点から、国内において質と量を誇るガラス・陶磁器等を中心とした(仮称)町田市立国際工芸美術館整備基本計画を策定する。建設候補地については、「アクセス・回遊性」を重要な視点として芹ヶ谷公園内の町田市立国際版画美術館北側を選定し、施設規模については延べ面積を約3000㎡とする。運営にあたっては、工芸美術作品の展示や収集保存等の基本的活動に加え、町田市立国際版画美術館や町田市民文学館ことばらんど、商店会等中心市街地のまちづくりに関係する団体等と連携し、まちの賑わい創出に貢献する。

今後、建設地である芹ヶ谷公園整備の方向性を踏まえ、公園内に美術ゾーンの形成を図るよう関係部署と調整し、基本・実施設計や工事、開館準備を進めていく。

### 【主な意見】

- 中心市街地整備や芹ヶ谷公園整備と連携しながら進めていくこと。

### 【会議結果】

- 提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

## 議題 2：「町田薬師池公園四季彩の杜」魅力向上計画の策定について（都市づくり部）

### 【付議の目的】

- 「町田薬師池公園四季彩の杜」魅力向上計画（案）の策定について承認を受ける。

### 【提案の概要】

薬師池公園及び周辺は、薬師池公園をはじめ、花の名所や様々なレクリエーション・観光機能を有した施設が点在しており、多くの市民が訪れる人気の高い地域となっている。

また、未来づくりプロジェクト「みどりを活用したまちづくりを推進するプロジェクト」において「薬師池公園地域の魅力向上」を掲げ、さらに、「町田市緑の基本計画 2020」においても、本地域の各施設の相互利用により、薬師池公園及び周辺を、観光資源としての魅力を高める計画づくりを行うこととしている。

そこで、「町田薬師池公園四季彩の杜」魅力向上計画を策定し、薬師池公園及び周辺を一つの公園として捉え、地域の有する豊かな自然環境、歴史・文化等を維持し、各公共施設の連携や地域資源を活用することで、多くの人々が四季を通して楽しめる公園となる様に、さらに魅力を高める取り組みを進めていく。

計画の基本コンセプトは「四季を通して花・風景・回遊を楽しめる魅力ある公園」とし、公園全体の総合案内機能や玄関口としての機能をもつ中心複合施設「四季彩の杜ゲートハウス」と「3つのゾーン」を設定した。さらに、各施設を中心として「薬師池エリア」、「ぼたん園エリア」、「リス園エリア」、「ダリア園エリア」のほか、林間アスレチック等が中心となる「南園エリア」、収穫体験農園等が中心となる「西園エリア」、町田市七国山ファーマーズセンター等を有する「北園エリア」、鎌倉古道が通る「七国山エリア」からなる8つのエリアを設定したうえで、ハード、ソフト両面からの事業展開を図っていく。

### 【主な意見】

- 指摘された文言の整理をすること。

### 【会議結果】

- 提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。